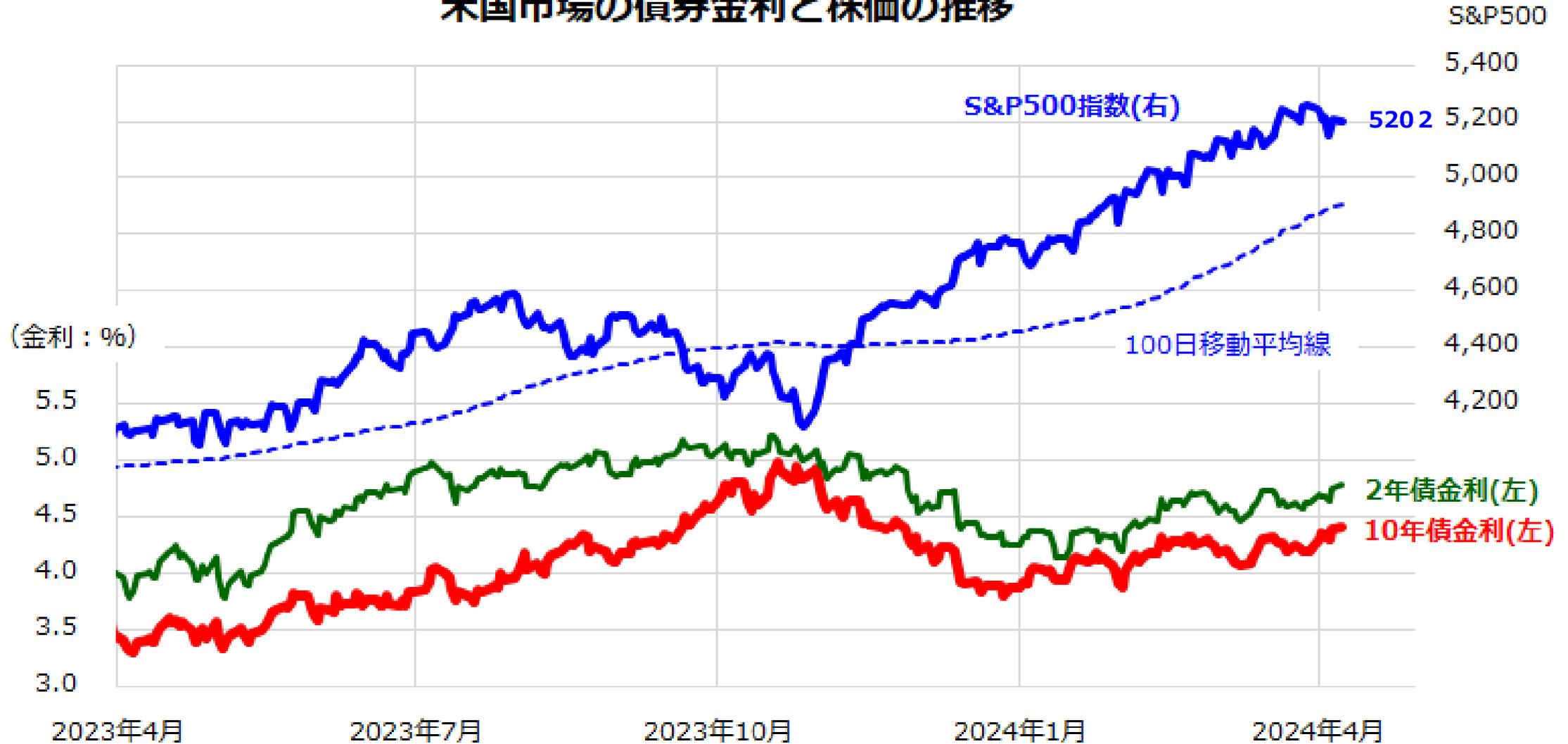


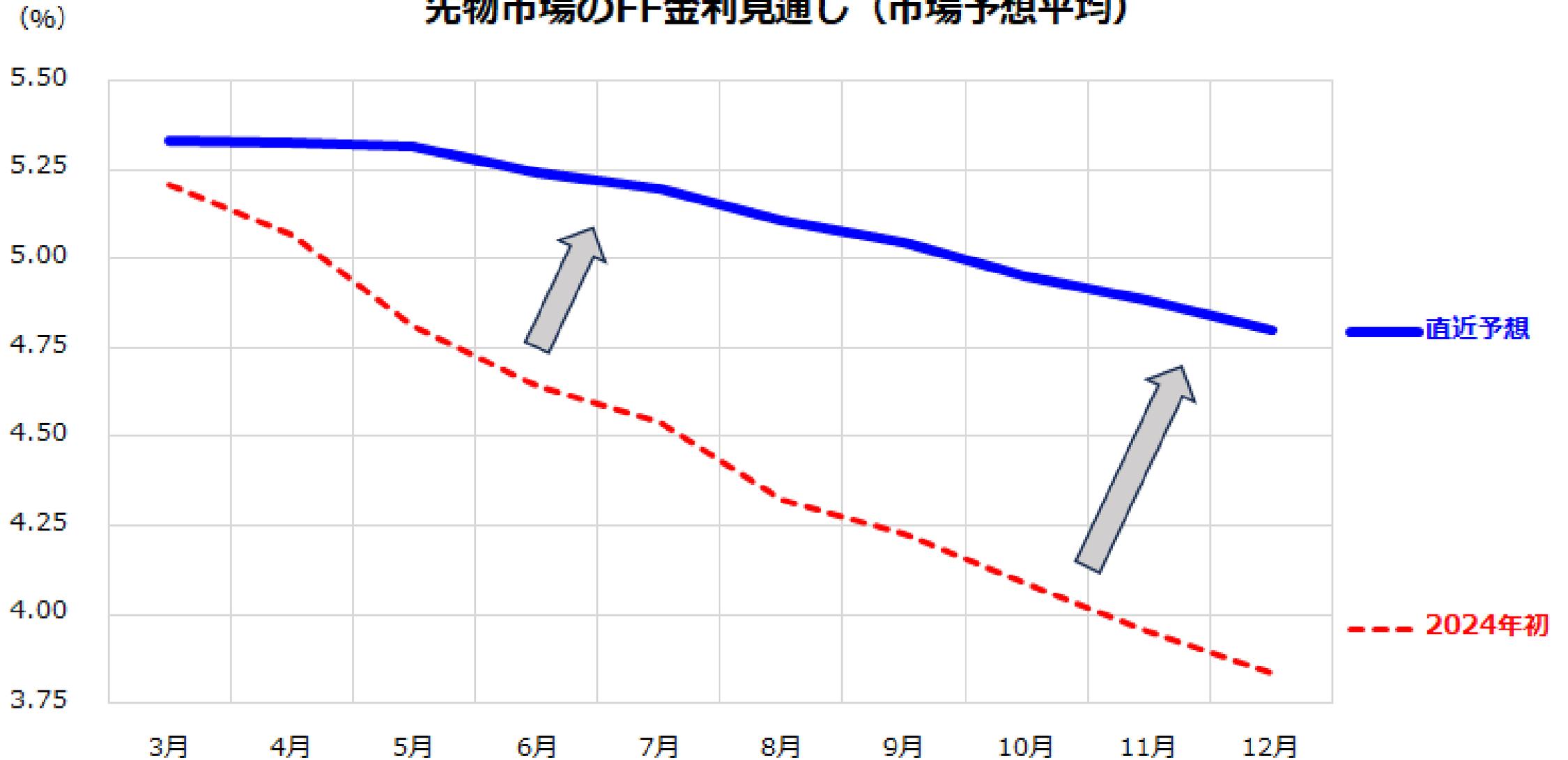
米国株式は4月に調整モード入り

米国市場の債券金利と株価の推移



先物市場で「早期利下げ観測」が後退

先物市場のFF金利見通し（市場予想平均）

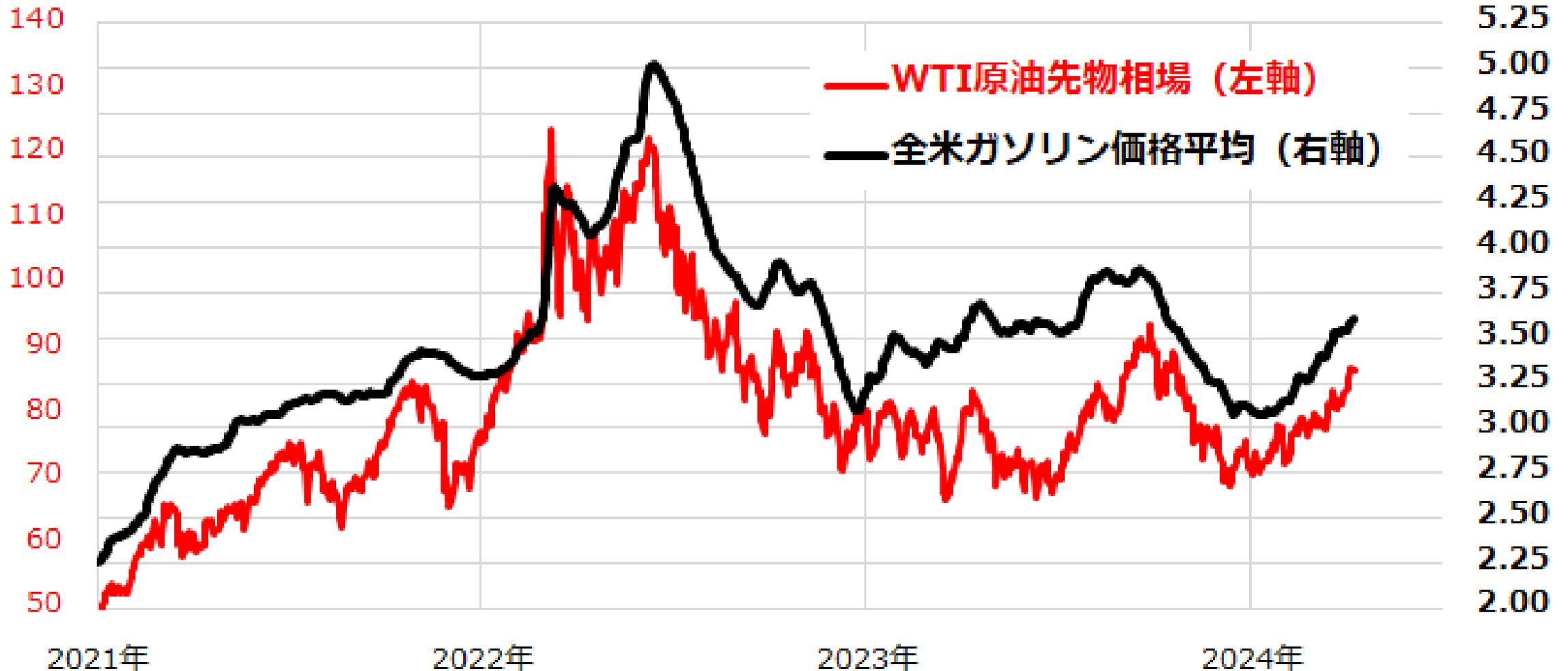


中東情勢の緊張で原油相場が上昇

ドル/バレル

ガソリン価格と原油先物相場の推移

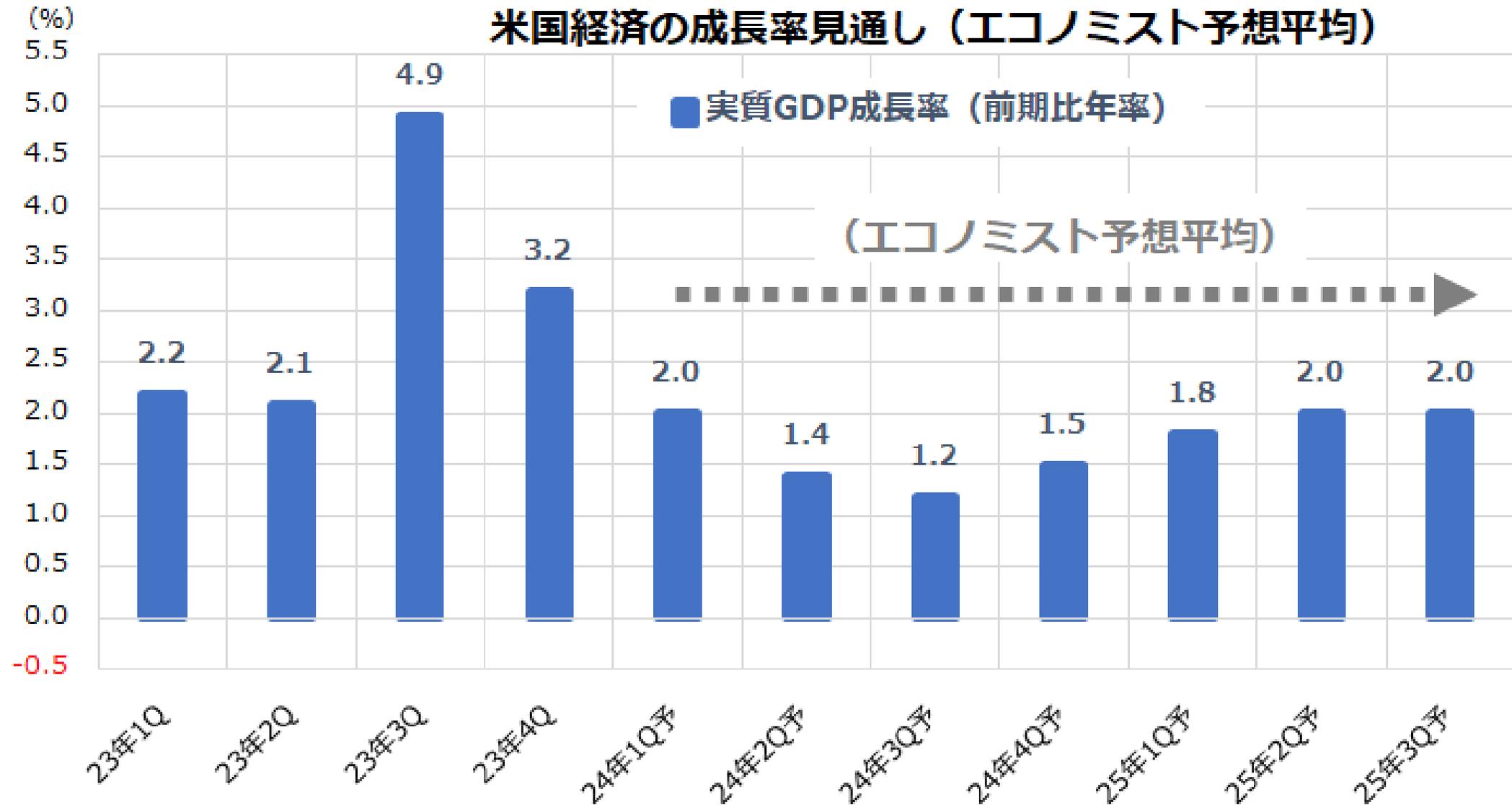
ドル/ガロン



リスク要因の顕在化は株価の重荷

#	潜在的リスク	警戒される不確実性の概略
1	金利再上昇リスク	インフレ収束が遅れFRBは金融引き締めを続けるか。債券金利が上昇するとテック系グロース株のバリュエーションが悪化して株価が下落する可能性。
2	景気後退リスク	金融引き締めの累積効果で米国経済は景気後退に陥るか。商業用不動産市況悪化が地銀の財務を圧迫する可能性。消費者信用で延滞率が上昇する兆候も。
3	地政学リスク	中東情勢の緊張激化に伴う原油相場の反転上昇。ウクライナ戦争長期化に伴う世界経済への影響。ロシア軍による戦術核兵器の使用。朝鮮半島の緊張など。
4	ワシントンリスク	上下両院議会のねじれで債務上限問題が再燃しかねない。11月大統領選挙に向けトランプ氏の返り咲きが濃厚になると「もしトラ・リスク」で揺れる可能性。
5	中国リスク	不動産バブル崩壊を発端とする長期構造不況で景気回復とん挫。台湾海峡の緊張。「新・冷戦」による米中対立激化で企業業績が被る影響に警戒を要する。

米国経済に「ノーランディング」の可能性



(出所) Bloombergより楽天証券経済研究所作成

日本株：為替の行方と業績見通しが鍵に

